

## 19 江戸幕府の外交政策の転換

- (1) 海外との貿易の発展に努めた徳川家康は、日本船の海外渡航を許可する朱印を押した書状を発行した。この書状を何というか？  
( )
- (2) (1)の書状を持った船が行った貿易を何というか？  
( )
- (3) 17世紀前半、(2)の貿易に伴って多くの日本人が海外に移住し、東南アジア各地に日本人居住地ができた。これを何というか？  
( )
- (4) アユタヤの(3)の指導者となったのち、シャムの役人になった人物の名を答えなさい。  
( )
- (5) 徳川家康は貿易を発展させるために基督教の布教を黙認していたが、江戸幕府は政策を転換し、1612年には幕領に、その翌年には全国に基督教を禁止する命令を出した。この命令を漢字3字で答えなさい。  
( )
- (6) 徳川家康の跡を継いだ2代将軍は、(5)を強化して、信仰を捨てない基督教徒を処刑した。この2代将軍の名を答えなさい。  
( )
- (7) 徳川家光が日本人の海外渡航と帰国を禁止したのは何年か？西暦で答えなさい。  
( )
- (8) 1637年、基督教徒への迫害、重い年貢に苦しんでいた九州の島原や天草の人々が、ある少年を大将として一揆を起こした。a)大将となった少年の名、b)一揆の名をそれぞれ答えなさい。  
( a ) ( b )
- (9) ポルトガル船の来航を禁止したのは何年か？西暦で答えなさい。  
( )
- (10) 1641年、平戸のオランダ商館は長崎港内の扇形の埋め立て地に移された。この埋立地を何というか？  
( )
- (11) オランダ商館が(10)へと移されたことによって、幕府による基督教禁止、貿易統制、外交独占の政治体制が完成した。この体制を何というか？  
( )
- (12) (11)の体制により、日本との貿易を許可されたのは2か国だけとなった。この2か国を答えなさい。  
( ) ( )
- (13) 江戸幕府が基督教徒を発見するために、キリストや聖母マリアが描かれた踏絵と呼ばれる絵や板を踏ませることを何というか？  
( )